

ナツツの好きなお月さま

いっぱいにナツツがつまつた袋を持って
宙に放り投げては食べながら歩いていると
月が昇ってきた。

気にもとめずにナツツを放り投げては食べ、
放り投げては食べて歩いていた。

そのうちに放り投げたナツツが落ちて
こなくなってしまった。

変に思つて投げたナツツをずっと見ていると
空高くまでいった所で、
月がぱくっと食べてしまった。

何度も投げても月に食べられてしまうので
口惜しくなつて、一度にたくさん
ナツツを投げてやつた。

さすがにお月さまも全部を食べることは
できなかつたようでバラバラと音がして
地面に落ちてきた。

でもよく見ると落ちてきたのはたくさんの
星たちで、空を見上げると星のかわりに
ナツツが空に浮かんでいた。

そしてナツツに囲まれた月がうれしそうに
笑つていた。